

宮崎県における自治体検診における肝炎ウイルス検査の現状把握と  
陽性者への受診勧奨および職域での肝炎検査に関する研究ならびに  
非専門医に対する肝炎対策の方策に関する研究

研究分担者：永田 賢治 宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター

**研究要旨：**宮崎県内に潜在しているウイルス肝炎患者の掘り起こしのために肝炎検診の陽性者のフォローアップシステムを構築するために県内で実施されている肝炎検査の実態を調査した。職域でのウイルス肝炎検診については協会けんぽ宮崎支部における肝炎ウイルス検査の現状について調査した。非専門医で実施している術前等でのウイルス肝炎検査について当院内での肝炎検査の実態を調査した。

### A. 研究目的

近年、ウイルス性肝炎の治療にはHBVに対する核酸アナログ製、HCVに対するDAA治療が導入され多くの患者で疾患のコントロール、ウイルス学的治癒が達成されつつある。厚生労働省では平成26年度より肝炎ウイルス陽性者を早期に発見するとともに、相談やフォローアップにより陽性者を早期治療につなげることを目的とした「ウイルス肝炎検査等の重症予防化推進事業」を行っている。宮崎県における肝炎ウイルス検査の現状把握と陽性者の追跡調査を行い、肝炎ウイルス検査陽性者の追跡システムを構築し、適切な医療に導くことを目的として本研究を行う。さらに、若年世代の潜在性ウイルス肝炎陽性者の実態を調査するために妊婦検診における肝炎検査の実態を調査した。また非専門医における肝炎検査のフォローアップのために大学病院の消化器内科以外の診療科での肝炎検査を調査し、検査数の多い、眼科医との連携を試みた。

### B. 研究方法

宮崎県における肝炎ウイルス検査の現状を把握のため、平成20年より実施されている肝炎ウイルス検査について県内各市町村における肝炎検診の受検者数、陽性率の推

移について調査した。また、宮崎県における妊婦検診における肝炎検診の実態について調査した。

職域における肝炎検査の現状については協会けんぽ宮崎支部に近年の生活習慣病検診における肝炎検査の状況について調査した。

非専門医で実施している肝炎検査陽性者の実態について、当院の消化器内科以外の診療科における肝炎検査について調査した。

### C. 研究結果

令和4年度に宮崎県内の自治体で実施されている肝炎検診の結果は、保健所・委託医療機関・市町村の合計で約8,500件であり、陽性者・陽性率はHBVで41件、0.48%であり、HCVで14件、0.16%であった（宮崎市を除く）。令和3年度との比較では陽性率についてはHBVで減少傾向持続しており、HCVは横ばいであった（図1）。

また、宮崎県内の妊婦検診における肝炎検査の検査数、陽性率を調査したところ、令和3年度の妊婦検診で約10,400名が肝炎検診を受けており、陽性者・陽性率はHBVが14名、0.13%であり、HCVが77名、0.07%であり、いずれも緩やかな減少傾向であった（図2）。

図 1

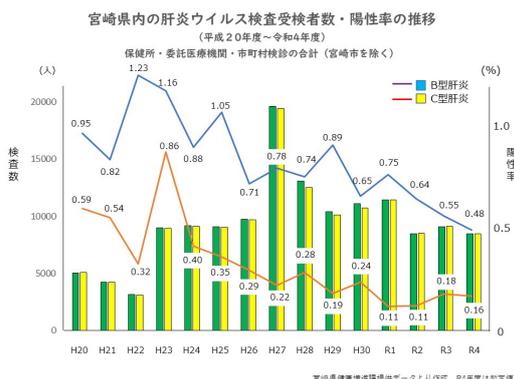
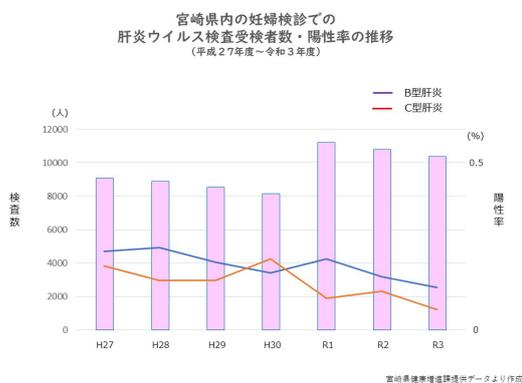
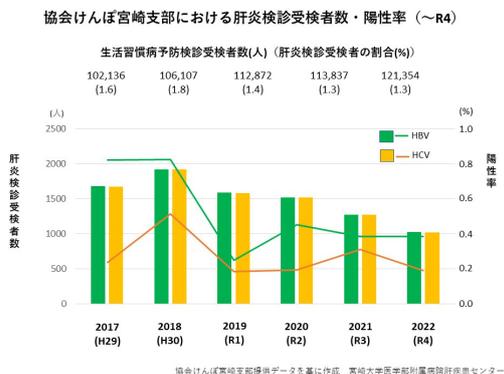


図 2



一方、職域検診における肝炎検査の状況について協会けんぽ宮崎支部に依頼し状況を調査したところ、令和4年度は121,354名が生活習慣病検診を受検しているなかで、肝炎検査受検者は約1,000名であり、陽性者・陽性率はHBVが8名、0.26%であり、HCVが6名、0.19%であった。HBVについては自治体検診のデータと比較して低率であったが、HCVについては令和2年度のみと比較では自治体検診の陽性率より高率であった(図3)。

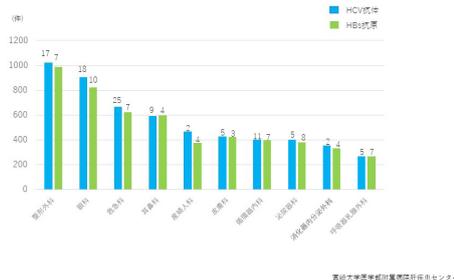
図 3



当院における肝炎検査について2020年度の診療科別の検査数を調査したところ、整形外科、眼科、救急科の順に多く、上記3診療科でHBs抗原陽性者を24名、HCV抗体陽性者を60名認めた(図4)。これらの陽性者についてフォロー状況を調査中である。

図 4

当院非専門診療科における肝炎ウイルス検査件数および陽性者数 (2020年度, 上位10診療科)



また、検査数の多い眼科については教授と面談し、肝炎検査後の結果説明、陽性者へのフォローアップの重要性、肝炎医療コーディネーター養成事業等について説明した。今後医局での説明会を開催予定である。また、宮崎県眼科医会にも今後働きかけを行い、眼科医療機関における肝炎医療コーディネーター養成を目指す方針である。

#### D. 考察

ウイルス肝炎患者を早期発見し、適切な治療につなげるために肝炎検診は重要であり、肝炎検査を自治体検診のみでなく、職域検診、非専門医術前検査を含めた総合的な陽性者フォローアップシステムの構築および実用化が必要である。

#### E. 政策提言および実務活動

##### <政策提言>

なし

##### <研究活動に関連した実務活動>

なし

## F. 研究発表

### 1. 発表論文

磯田広史、榎本 大、高橋宏和、大野高嗣、井上泰輔、池内 正、井出達也、徳本良雄、小川浩司、瀬戸山博子、内田義人、橋本まさみ、廣田健一、柿崎暁、立木佐知子、井上貴子、遠藤美月、島上哲朗、荒生祥尚、井上 淳、末次 淳、永田賢治 是永匡紹. 肝疾患連携拠点病院における肝炎コーディネーターの現状（第2報）。肝臓 64(10), 54-55, 2023

井上泰輔、井出達也、内田義人、小川浩司、井上貴子、末次 淳、池上 正、瀬戸山博子、井上 淳、柿崎 暁、榎本 大、立木佐知子、遠藤美月、永田賢治 是永匡紹. 携拠点病院以外の肝疾患専門医療機関における院内肝炎ウイルス陽性者対策調査。肝臓 64(12), 55-58, 2023

### 2. 学会発表

内田圭祐、大園芳範、小牧優里、中村憲一、岩切久芳、蓮池悟、永田賢治、河上 洋：少人数で実施可能な肝炎ウイルス検査受検者へのフォローアップシステムの構築とその成果。肝臓64 Suppl(3) A902, 2023

### 3. その他

#### 啓発資材

なし

#### 啓発活動

\*永田賢治: 令和5年度宮崎県肝炎対策懇話会 令和6年2月7日 主催：宮崎県

\*永田賢治: 令和5年度宮崎県肝炎医療コーディネーター養成講習会 ウイルス肝炎・肝癌の現状について（動画配信）令和6年1月主催：宮崎県、宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター

\*永田賢治: 宮崎県肝炎医療コーディネーターキャリアアップ講習会 ウイルス肝炎を中心とした肝臓病の現状と問題点（オンライン研修） 令和6年3月主催：宮崎県、宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター

\*永田賢治: みやざき肝炎デー2023 令和5年7月30日主催：宮崎県、宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター  
会場 イオンモール宮崎

\*永田賢治: 令和5年度宮崎県肝疾患診療連絡協議会

主催：令和6年3月11日 主催宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター

\*永田賢治: 市民公開講座「知っておきたい肝臓病の最新知識」令和5年10月28日 延岡市社会教育センター，主催：宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター

## G. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし